
1. 哺乳類

1 石川県の哺乳類相（陸棲）

日本国内の哺乳類の生息確認は帰化種を含めると26科70属122種で、土着の哺乳類だけでも23科57属110種と非常に多くの種が生息している。また110種のうち44種が固有種、6属が固有属であることも大きな特徴である。日本の国土は面積が狭いうえ、南北に3,000kmと細長く、気候帯の上でも亜熱帯から亜寒帯まで含み、地形が急峻で高山も見られることから植物地理学上も多様性に富んだ自然環境が見られる。また、アジア大陸の東端に位置する列島であることから、地殻の変動や氷河期の海面の上下により大陸からの侵入や孤立を繰り返し、大陸から強い影響を受けている反面、孤立により独自の進化を遂げた部分などがある（阿部ら 1997, 2007）。

県内では1999年までに18科53種の哺乳類が確認されているが、その後の調査でコウモリ2種の生息が確認され、現時点では18科55種が確認されている。これを日本の哺乳類相と比較すると種数で半分と少ないが、これは、沖縄県や北海道などの生物地理学的に完全に異なる区域を含んでいるためで、同じ生物地理学的区域に属する本州、四国、九州の種数と比較すると、種段階ではほぼすべての種が確認されている。本県は南北に細長く、しかも海岸から高山までを含み、急峻で入り組んだ地形が多く、多量の積雪があることから、多様で特徴のある哺乳類相が残ってきた。アズミトガリネズミ、ヒメヒミズ、ミズラモグラなど、高山の山岳地にだけ分布する種や原始的な森林にしかいないコウモリ類が分布することなど、哺乳類相の豊かな県といえる。また、コウモリ類の一部には繁殖が確認されていないものもあるが、ほとんどの種で繁殖が確認されており、県内には哺乳類の生息に適した環境が残されているといえる。

哺乳類相から県内を加賀地方と能登地方に大きく二分することもできる。加賀地方にはヌートリアとアナウサギの2種の移入種を除く、県内の全ての哺乳類の生息が確認されているのに対し、能登地方は、加賀地方の約半数にあたる11科26種しか生息が確認されておらず、大型哺乳類や高山性の小哺乳類を欠いている。加賀地方の種の多様さを際立たせているのは、能登地方にはない白山を中心とした広い山岳地域の存在である。この地域において冬期間の多量の積雪が人間活動を制限し、良好な自然環境が残されてきた結果といえる。

県内で最も多くの種がいる分類群はコウモリ類で、キクガシラコウモリ科とヒナコウモリ科の16種が確認されている。次いで多いのはネズミ科とモグラ類（トガリネズミ科とモグラ科）で、どちらも9種が確認されている。空中と、地上あるいは地下とそれぞれの生活の場は異なるがいずれも、体の小さな哺乳類で、これらを合計すると34種にもなり、石川県で確認されている種の6割近くになる。これらの種については県全体の概要が明らかになってはいるが、研究者も限られているため、詳細については今後も調査を継続しデータの空白を埋めていく必要があると考えられる。

2 種の選定基準

種の現状を客観的に評価するには、過去から現在までの個体数、分布域などの変化を継続的に捉えていく必要がある。しかし、現状は分布データも不完全であり、個体数についてはごく一部の種しか分かっていないことを認めざるを得ない。そのため、今回の選定に際しては次の基準で種を選んだ。

(1) 環境庁のレッドリスト「哺乳類」（1998）のうち、石川県に生息する種及び県内で繁殖する可能性のある種

絶滅危惧Ⅰ類 ノレンコウモリ、モリアブラコウモリ、クビワコウモリ、クロホオヒゲコウモリ

絶滅危惧Ⅱ類 アズミトガリネズミ、ヒメホオヒゲコウモリ、カグヤコウモリ、ヤマコウモリ、ヒナコウモリ、ウサギコウモリ、テングコウモリ、コテングコウモリ

準絶滅危惧 ミズラモグラ、オコジョ、ヤマネ

- (2) 県内の個体数が少なく、しかも生息条件が悪化しているため生存が脅かされている種。
 準絶滅危惧 ホンドモモンガ、カヤネズミ、カワネズミ、シントウトガリネズミ、ヒメヒミズ
- (3) 上記の(2)に該当すると思われるが、現在のところ評価するには知見が不足している種。
 情報不足 該当なし
- (4) かつては生息し、現在は全く生息しない種。
 絶滅 オオカミ、カワウソ

3 哺乳類選定種一覧

区 分	哺 乳 類	種類数等
絶滅	オオカミ、カワウソ	2
絶滅危惧Ⅰ類	ノレンコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、モリアブラコウモリ、クビワコウモリ	4
絶滅危惧Ⅱ類	アズミトガリネズミ、ヒメホオヒゲコウモリ、カグヤコウモリ、ヤマコウモリ、ヒナコウモリ、ウサギコウモリ、テングコウモリ、コテングコウモリ	8
準絶滅危惧	ミズラモグラ、オコジョ、ヤマネ、ホンドモモンガ、カヤネズミ、カワネズミ、シントウトガリネズミ、ヒメヒミズ	8
情報不足	-	-
地域個体群	-	-
計		22

(野崎 英吉)

